



前号から、メール会員には印刷物での会報は郵送されません。印刷物として欲しい方は、ご自分でプリントアウトをしてください。その分、メール会員にはホームページやメール等による情報面で様々な特典があります。是非、上記のホームページをご覧ください。

## 本号の内容

巻頭言 : 岸裕司副会長(今号から、会報の1ページ目に、会長か副会長の巻頭言を載せます) <P.2>  
(今回のテーマ) 中教審答申の「先導的・実験的手法の採用」と文部科学省の「コミュニティスクール」

- 1 大阪フォーラムの最終案内(申込書つき) <P.3-P.6>
- 2 通信による総会 <P.7-P.8>  
平成14年度会計報告、平成15年度役員(案)等  
印刷物会員は、同封の葉書で返送してください。  
メール会員は、ホームページから返信してください。
- 3 今後の会員への詳細な情報提供について(事務局会議の決定より) <P.8-P.11>  
事務局会議より(2003.4.6)於:秋津コミュニティ  
編集会議より(2003.4.27)於:宮崎雅子事務局長宅
- 4 事務連絡 <P.11>  
これからの会報の発行について  
会員継続の意思確認と会費の納入について  
会員名簿の掲載
- 5 会員の活動から <P.11>  
千葉県支部結成の研修会記録      新潟県「阿久津会員」の活動      津久見市「諫山会員」の活動  
経済同友会教育委員会「石川史郎会員」の紹介記事      新潟県「和泉会員」の活動
- 6 その他 <P.11>  
2004年度のフォーラム開催の立候補を受け付けます

中教審答申の「先導的・実験的手法の採用」と文部科学省の「コミュニティスクール」

1999年（平成10）の中央教育審議会（中教審）の答申には、たったの1か所ですが「先導的・実験的手法の採用」との刺激的な文言があります。そのくだりは、教育改革を進める上での教育委員会の役割に触れた以下の流れの中です。

「8. 今後、教育改革をより一層積極的に進めていくためには、教育委員会の果たすべき役割がますます重要になることは言うまでもない。各地方公共団体においては、それぞれの地域や学校の特色を生かした主体的な施策を展開していくことが教育改革の成否を左右することを十分認識して、積極的に対応していくことをお願いしたい。

なおその際、教育行政を地域の実情や特色に沿って柔軟かつ弾力的に展開するため、先導的・実験的手法の採用、教育行政や学校運営に関する多様な評価手法の導入等にも留意することが必要である。」と（アンダーラインは岸による）。

これを読んだ当時、私は「不転の国の決意」を強く感じ感動しました。

それは、これまでの文部行政は一貫して「実験概念を採用してこなかった」と思っていたからです。「仮に」実験的におこなって失敗したら、当事者の児童生徒に取り返しがつかないからとの思惑があったからだと思えます。同時に、さまざまな学校や子どもをめぐる問題への対症療法の限界も、明らかになっていた時期でもありました。

その後この中教審の答申の「先導的・実験的手法の採用」の考え方は、教育改革国民会議や総合規制改革会議に受け継がれ、文部科学省が2002年度から3年間の研究指定をはじめた、通称「コミュニティスクール」と呼ばれる「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究」に具現されたと理解しています。

さて、秋津小学校は、全国7自治体9校の一つとしてこの研究指定校になりました。同校区の全居住者や勤務者を対象に生涯学習のコミュニティづくりを推進する秋津コミュニティの役員であることから、私もこの研究に委員として関わっています。

では、研究指定を受けた秋津小学校と地域は、上記の中教審の答申にいうどんな「地域の実情や特色」があるのでしょうか。

1. 「学社融合」による学校教育と社会教育の「共育」創造をおこなっていること。
2. 学校の鍵を地域に預けて通年使える地域の生涯学習施設にしていること。
3. その結果、生涯学習コミュニティづくりに寄与する学校になってきていること。

などが、その主な特色と思えます。

これらの実験は、「学校教育上支障のない限りの学校施設の開放を進める」（学校教育法・社会教育法・スポーツ振興法のそれぞれに似た文言があります）などの考え方とはまったく逆で、「学校教育や地域社会の社会教育が充実するがゆえに学校機能の開放を促進する」との理念に依拠しています。

いま秋津は、中教審答申の「先導的・実験的手法」を大胆に採り入れ、21世紀の教育を創造していると思えます。

なお、研究指定2年目の2003年度は、佐竹正実融合研事務局員兼千葉県支部事務局長が同研究のために組織した「地域学校協議会」の委員として秋津コミュニティから参画し、私は千葉県教委や市教委及び秋津小学校幹部らで組織する「運営会議」の委員として参画しています。（2003年7月3日脱稿）

## 1 大阪フォーラムの最終案内

- 大反響!! ぜひご参加を! -

### 「融合フォーラム2003 in 大阪」について

昨年、西日本で初めて開催された福岡フォーラムに引き続き、今年も同じく西日本の「大阪」で開催されます。大阪並びに近隣府県には会員も多く、さらに活動も多彩で、早くから学社融合に取り組んできたことで事例も豊富です。以下に概要を載せます。今回はこれまでの夏休み中の開催に変わって9月開催となりました。また、全体講演等も会員からいただいた声をもとに、進め方や人選のあり方を見直しました。秋の2日間を大阪で大いに語り合しましょう。

### 1. テーマ:ひとり一人の"わたし"が息づく「学社融合」を求めて

新しい教育方法としての学社融合の先にあるものは、いつでも誰でも学べる生涯学習と安全で安心なノーマライゼーションのコミュニティづくりに寄与する学校像だと考えます。同時に学社融合の前にあるものは「ひとり一人の"わたし"」が、生き活かされる学社でなければなりません。

6年目を迎えた融合研の大阪大会は、融合実践を磨きあいつつ、「その前にあるもの、先にあるもの」を見守った大会にしたいと思います。

### 2. 開催日: 9/27(土) 12:00受付 ~ 9/28(日) 15:00終了

提言+4つの分科会+屋台フォーラム+懇親会+鼎談+融合研総会+ふれあいタイム

スケジュール	
9/27	12:00 受付 13:30 開会行事+提言1+分科会主旨説明(提言者は人選中) 15:00 分科会(4分科会) 19:00 屋台フォーラム 20:00 懇親会+セリ市
9/28	9:00 分科会報告+提言2(提言者は人選中) 10:30 インタビューダイアログ(光代さんと時子さんの・・・) 12:30 昼食 13:30 融合研 総会 14:00 ふれあいタイム 15:00 終了 解散
分科会	
第1分科会	大阪府 地域コーディネーター連絡協議会 主宰 「地域コーディネーターからの発信」 大阪府 すこやかネット(地域教育協議会)の活動報告 ・コーディネーター: 渥美公秀さん(大阪大学大学院人間科学研究科 助教授)
第2分科会	「公民館が発信するまちづくり」大阪府貝塚市の事例から ・コーディネーター: 山本健慈さん(融合研・和歌山大学生涯学習教育研究センター教授)
第3分科会	「秋津野塾(和歌山県田辺市上秋津)」のトキを越えての自主・自律(立)のまちづくり実践 ・コーディネーター: 堀内秀雄さん(和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授)
第4分科会	「はじめての学社融合」 ・コーディネーター: 宮崎 稔さん(融合研会長)

### 3. 9/28(日) 10:30~12:30 インタビューダイアログ(鼎談)について

- 1) 弁護士 「大平光代さん」(ベストセラー『だから、あなたも生きぬいて』著者)
- 2) 「田上時子さん」; 女性と子どもへの暴力防止についてサポート活動するCAP(児童虐待の全国団体)のNPO法人 女性とこどものエンパワメント関西代表
- 3) 油谷雅次さん; コーディネーター(融合研副会長・大阪府社会教育委員)

\* 大平さんと田上さんお二人を引き出し役に話題提供をいただき、会場参加者とのやり取りをテンポ良く行うダイアログ方式(質問対話法)です。お二人の壮絶なご経験をお聞きしながら、参加者とともに学校・地域・

社会の在り方を考え、より良く一步前進するパワーがみなぎるようにと企画しました。

#### 4. 参加費 2,000円(学生1000円)、会員は1,000円(学生500円)です。

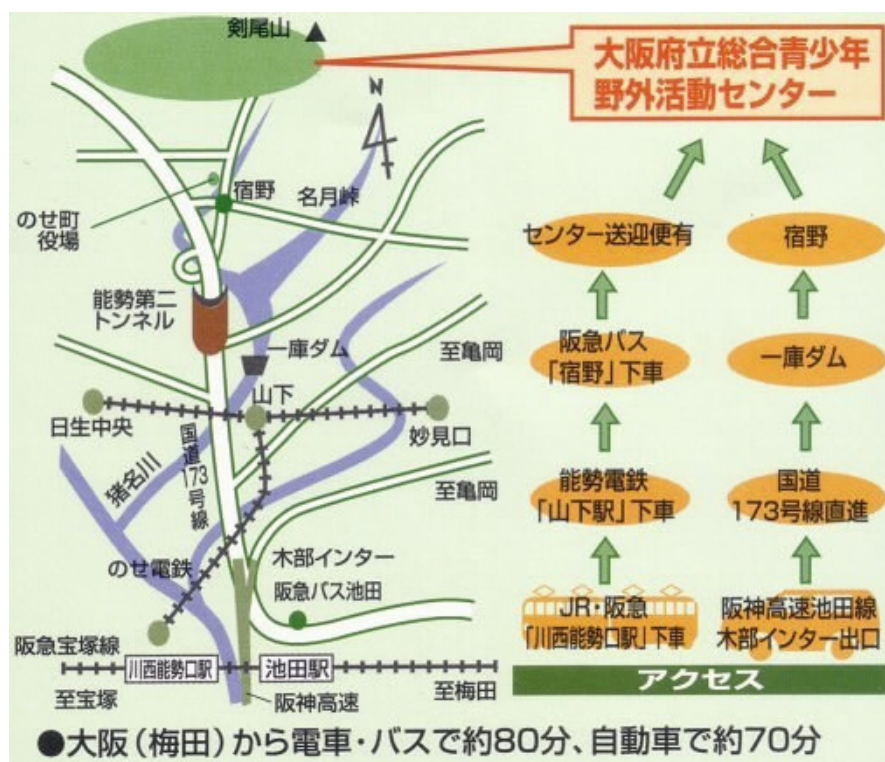
1日のみの参加でも同料金です。参加形態によっては宿泊費・懇親会費・食事費も別途必要になります。  
会場の都合により、フォーラム当日は各自上履きをご持参下さい。

#### 5. 会場；大阪府立青少年野外活動センター <http://www.twin.ne.jp/~outdoor/>

住所：大阪府豊能郡能勢町宿野437 (TEL)072-734-0500

交通：

- 1) (航空便)伊丹 阪急宝塚線・川西駅 能勢電鉄・山下駅 バス・センター (約1時間20分)
- 2) (新幹線)新大阪 阪急宝塚線・川西駅 同上 (約1時間40分)
- 3) (自動車)大阪市内 阪神高速池田線木部インタ - 国道173号線 宿野 (約1時間10分)



詳しくは以下をご参照下さい(バスの時刻表にもリンクしてあります)

<http://www.twin.ne.jp/~outdoor/access/access.htm>

#### 6. お問合せ+屋台発表申込み先

「学校と地域の融合教育研究会」事務局(宮崎 稔会長・宮崎雅子事務局長 自宅)

〒285-0843 千葉県佐倉市中志津7-17-4 (TEL & FAX) 043-463-1929

(Eメール) [miyazaki@jb3.so-net.ne.jp](mailto:miyazaki@jb3.so-net.ne.jp)

実践発表者をしたい方が自由におこなう「屋台フォーラムでの発表希望者」を募集しています。方法とスタイルはこれまでの反省を生かし、じっくり質問したい・語りたいたいものになるようにしたいと思います。どうぞ、奮ってご応募下さい。応募先は、事務局までメールかFAXをお願いします。但し、プレゼン等に係る機器の貸し出しはできませんので、必要な方はご自身でご用意下さい。

(会場の都合上先着10名まで)

#### 7. 参加お申込み(メールアドレスをお持ちの方はできるだけインターネットからのお申込みにご協力下さい)

インターネットからのお申込み 「<http://www.yu-go.info/>」から

FAXからのお申し込み 「次のページ」から



## 融合フォーラム 2003 in 大阪 参加申込(FAX 用)

<申込み締切日は8/14(木)です>

このページはFAX専用の申込みページです。

事務負担の軽減のために、できるだけインターネットからのお申込みにご協力下さい。

### 【申込み方法】

会報を印刷してから、必要事項をご記入の上、このページのみを「043-463-1929」宮崎総まで FAX して下さい。

は必須項目です。FAXでお申込みの方には、FAXで参加証をお送りします。

1. 融合研会員ですか？	はい (会員番号: ) いいえ 番号をお忘れの際は、 <a href="http://www.yu-go.info/kaiin/kaihou.htm">http://www.yu-go.info/kaiin/kaihou.htm</a> 内の「会員名簿」でご確認下さい。
2. お名前	( ) (例)融合研一
3. ふりがな	( ) (例)ゆうごうけんいち
4. 性別	男      女
5. 連絡先郵便番号	(    -    ) (例)012-3456-7890
6. 連絡先住所	都道府県名からご記入ください ( )
7. 連絡先電話番号	( ) (例)012-3456-7890
8. 連絡先FAX番号	( ) 同上
9. 選択して下さい	一般      学生
10. 参加の形態	A   B   C   D   E   F   G 次頁【参加の形態】を参照して下さい
11. 発表を希望されますか？	いいえ      はい(内容を如何にお書き下さい)

間違いや必須項目での空欄はございませんか？

【参加の形態】

	A	B	C	E	F	G
参加費						
懇親会費						
宿泊費						
朝食						
9/28 昼食						
会員(一般)	¥8,000	¥7,500	¥4,500	¥4,000	¥1,500	¥1,000
会員(学生)	¥7,500	¥7,000	¥4,000	¥3,500	¥1,000	¥500
非会員(一般)	¥9,000	¥8,500	¥5,500	¥5,000	¥2,500	¥2,000
非会員(学生)	¥8,000	¥7,500	¥4,500	¥4,000	¥1,500	¥1,000

発表はされなくても資料の提供は大歓迎です。せり市での名産品の提供もお待ちしています。

<発表資料&せり市用名産品の送付について>

資料は400部ご用意ください。できるだけA4版に統一してください。

大阪府立青少年野外活動センターまで「融合研資料」「融合研せり市品」としてご送付下さい。

9/22(月)~9/24(水)必着をお願いします。間に合わない場合には資料の袋に入りませんのでご注意下さい。

<送付先>

大阪府立青少年野外活動センター

〒563-0341 大阪府豊能郡能勢町宿野437 TEL:072-734-0500(9:30~18:00)

## 2 通信による総会

これまで、規約に基づく年1回の融合研の総会はフォーラムの際に行ってきましたが、必ずしも会員の過半数の参加があるわけではありませんでした。そこで、フォーラムに参加できない会員にも総会で意思表示をしていただけるようにということで、通信による返信をもとに総会に参加していただくことにしました。今年は、その返信分と大阪フォーラム二日目の総会出席者を合わせて、過半数の参加をもって成立の運びとなります。

印刷物会員は返信用の葉書に、またメール会員はホームページから、それぞれ必要事項を記入の上、返信ください。ホームページでの投票は後日メーリングリストにてご連絡致します。

### (1) 総会の議案

平成14年度事業報告	賛成します・反対します・総会の議決に従います
平成14年度会計報告	賛成します・反対します・総会の議決に従います
平成15年度事業計画	賛成します・反対します・総会の議決に従います
平成15年度役員(案)	賛成します・反対します・総会の議決に従います
その他、事務局会議での決定事項から提案します。	賛成します・反対します・総会の議決に従います

### (2) 内容

#### 平成14年度事業報告について

- 平成14年4月27日 北九州市教育委員会と福岡フォーラムの協力検討(於、秋津コミュニティ)
- 5月11日 福岡フォーラム現地実行委員長と詳細検討(於、福岡市)
- 16日 事務局会議(於、東京「パンゲア」)
- 6月1日 東北支部設立研修会(於、岩手県紫波町)
- 7月4日 事務局会議(於、東京「パンゲア」)
- 8月10日~11日 融合フォーラムin福岡

#### 平成14年度会計報告について

		平成14年度会計報告
収入の部		908,387円
(内訳)	繰越金	310,366円
	会費(3000円×190)	570,000円
	(2000円×12)	24,000円
	資料代	4,000円
	利息	21円
支出の部		442,222円
(内訳)	通信費	289,476円
	会議費	17,703円
	事務用品	70,052円
	テープ・フィルム	20,476円
	ドメイン料	44,415円
	通帳開設	100円
残高		466,165円

監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

監査 野澤令照  
小山みさ

#### 平成15年度事業計画について

- 平成15年4月6日 ..... 事務局会議(於、秋津コミュニティ)
- 27日 ..... 事務局編集会議(於、宮崎雅子事務局長宅)
- 5月10日~11日... 千葉県支部設立研修会(於、柏市「県民プラザ」)
- 6月20日 ..... 事務局会議(於、東京「パンゲア」)
- 9月27日~28日... 融合フォーラムin大阪

## 平成15年度役員(案)について

### <役員>

会長	宮崎 稔	(習志野市立大久保東小学校)
副会長	岸 裕司	(習志野市秋津コミュニティ)
同	油谷雅次	(大阪府北貝塚小学校コミュニティルーム運営委員会)
監事	野澤令照	(仙台市教育委員会)
同	小山みさ	(市川市ナーチャリングコミュニティ)
プログラム開発委員長	越田幸洋	(鹿沼市立石川小学校)

### <事務局>

事務局長	宮崎雅子	(習志野市秋津コミュニティ)
事務局次長	斉藤正一	(NPO法人LIT)
事務局員	矢吹正徳	(日本教育新聞)
同	種田祝次	(習志野市秋津コミュニティ)
同	稲垣易一郎	(市川市ナーチャリングコミュニティ)
同	車 育子	(習志野市秋津コミュニティ)
同	城 佐知子	(富士宮市立大富士中学校PTA)
広報担当	原 省司	(上越市立大手町小学校PTA)
事務局員	中村智成	(NPO法人LIT広島)
	佐竹正実	(習志野市秋津コミュニティ)
	一色真司	(代々木学院)

上記の内容について、「ご意見」「ご質問」のある方は、大阪フォーラムでの総会までに、事務局までご連絡ください。議題としてとりあげさせていただきます。

印刷物会員には、葉書を同封し返送していただきます。

メール会員は、ホームページから返信していただきます。

いずれの返信締切日も、集計作業の都合上9/24(水)(当日着)までとさせていただきます。

### 3 今後の会員への詳細な情報提供について(事務局会議の決定より)

事務局会議より(2003.4.6)於:秋津コミュニティ

#### 【1】大阪フォーラムについて

日程について;福岡フォーラムに準ずる。詳細は、追ってつめることにする。

「子どもがつなぐ」という視点は、実施するか否かやどのように行うか等を大阪の関係者に一任する。

提言は、本部で人選する。

機材は、分科会も提言も各自が用意することを原則とする。

屋台フォーラムは飛び入り歓迎。但し、機材は使えない。(原則、印刷物で)使用の場合は各自で用意。

分科会の数は、4とする。大阪で作ったたたき台の「4」「5」分科会と一緒にして、「はじめての学社融合」とする。事例紹介は、その中で行う。

分科会の会場(4部屋)は、参加者の動向と併せて「食堂」「研A」「研CD」「体育館」とする。

ファシリテーターは、岸裕司が担当して実施の可能性を探る。(今回はしないことになりました)

#### 【2】会則(細則)規定について

役員・事務局員選出:事前に会報で「案」を流し、意見や立候補を受け付けて総会で決定する。

改めて、細則は設けない。

会員への情報の公開を密にする。

#### 【3】退会者の扱い・事務手続きについて

現状の方法で可。

何度も催促しないで、ゆるやかに行う。



#### 【4】ホームページの扱いについて

会員になったメリットがあるような情報提供をする。

今後の検討課題：ホームページの活用充実、リンクをどうするか、「ゆうごう徒然 会報」の扱い方と充実、メールの発信者が少ないのもっと活発にしたい。

これからは、新たに設けた編集委員会の「編集会議」を行い、広報関係全体の方針や内容を確定する。編集会議の招集は会長が行う。

#### 【5】その他

協力依頼のあった「第6回読書コミュニティフォーラム全国大会」については協力をする。今後は、内容によって「後援」「共催」「協力」の許可をその都度検討する。

千葉県鎌ヶ谷市立初富小学校の30周年行事(10/18土曜日)へも、融合研としてできるだけ協力する。

千葉県支部勉強会は無理のない範囲で全国に発信して参加を誘う。

編集会議より(2003.4.27)於：宮崎雅子事務局長宅

#### 【1】会報の発行について

(1)発行月；原則として4月、7月、10月、1月とする。

(2)固定のページについて

##### 全ての号

巻頭言のようなものを会長・副会長の輪番で載せる

融合ミニ辞典・用語解説的なものを、プログラム開発委員会(チーフ：越田幸洋)の責任でできるだけ載せる。

支部、各地および会員の活動紹介をする。原稿を募集し、掲載するかどうかは編集委員会で決定する。

4月の「会員継続の意思確認」の返事にコメントを書いてもらう欄を設け、それを掲載する。

メールから、ピックアップして活動の概要を掲載する。

事務局よりの連絡。

##### 4月号

会員継続の意思確認をする。

フォーラムの一次案内。

役員や事務局員の案を掲載し、メールや郵送で投票してもらう。

会計報告。

##### 7月号

フォーラムの最終案内(参加の申し込み等を含む)。

##### 10月号

フォーラムの記録。

承認された役員。

##### 1月号

特に固定しない。

#### 【2】メールやホームページの活用について；中村会員の提案を元に話し合う。

(1) 具体的なこと

管理者と運営者を別にする。

パソコンやメールのアドレスを持っていても、苦手な人がいる。そのような人へのフォーロが不足していなかったか。操作の仕方等を丁寧に配信して、原則的には全部の会員がメールやホームページでの情報提供を希望する人になってもらうようにする。

(2) メールについて

メールがある人は、とりあえず全員を登録する。同時に、配信を希望するかどうかの選択をしてもらう。

また、方法もまとめて配信して欲しいかその都度がよいかどうかの希望も選択してもらう。

融合研のweb-info上に、メーリングリストを載せるのは、難しいということなので現在の形をとる。

メールの管理者としては、これまで通り一色会員にやってもらうが、宮崎雅子事務局長も教えてもらいながらできるだけ管理に加わる。

### 【3】会員のメリットについて

(1) 「会員と非会員の線引きをし、会員には情報面でのメリットがあるようにしたいかがいかがか。」との提案の元に話し合った。意見の主なものは、多くの研究物が、非会員にもホームページ上では見ることが出来る。これでは会員としてのメリットがないのではないか。

会員だけにしか手に入らないその他の情報も提供を受けて累積できる。

その際、会員が増刷りして非会員にも渡せば、会員のメリットにはならないのではないか。

会員の活動に賛同してもらうことを目的に、会員の主体的な判断で情報を非会員に供するのは、融合研の活動目的にも一致する。ホームページ上のももそれ以外のものも大いに利用してもらっていいのではないか。

ということで、上記のようにまとまった。

#### その際の留意点として

執筆者（著作権者）の許可を得ることを原則としたい。引用や参考にする場合も同様である。

利用をした後は、非会員がどのような反応であったかを報告してもらうよう配慮し合いたい。

会員同士が本音で話し合っている場面があるので、固有名詞などがそのまま載らないように配慮してもらいたい。

今後の会報等には、「二次利用する際は」ということで上記の一文をつけて、会員に啓発する。

「営業行為」になるものについては禁止する。

(2) 会員のメリットとしては、今後は

会員の活動事例に対して、アドバイスをきめ細かく行ってフォローするとよい。

かつて融合研会員が執筆して小学館から「学社融合の具体的方策」について出版した。それにならって活動事例を「プログラム表」としたら、研究の成果としてまとめていけるのではないかと。

### 【4】ホームページについて

掲載ページ	特記事項
事務局より	
Web管理部より	
「会報ゆうごう」	
会報バックナンバー	まだ全部は揃っていないが、会長と斉藤で確認し合う。
ゆうごうアーカイブ	会報の関連資料やお役立ちデータなどを掲載する。編集委員が過去ログを掘り起こし、MLで何を載せるかをやりとりした後に管理者に指示する。 SSLで編集チェック用のものを隠しページとして用意する。
ゆうごう徒然	いわば客寄せページとして掲載する。全文にするか、場合によっては支障がある場合、ダイジェスト版として定期的に更新する。更新した場合は、ML上に「更新した」旨の一文を流す。 現在までのMLで載せたい内容と担当責任者 教育特区（一色） PTA（岸） 高井千幸さん（車） 土屋美智子さん（車） 越田さんの融合日誌（矢吹） 宮崎会長の悪戦苦闘記（宮崎） コミュニティスクール研究（岸） 学校評価（岸） 久川会員の札幌だより（ ）
フォーラム連動企画	大阪に一任する
各種マニュアル	会員が関わるイベントならば、公開する・しないに拘らず掲載可とする。 会員規約は、入会のページに掲載する

## 【5】その他

- (1) 会員専用サイトのコンテンツがある程度出来上がったなら、個別認証システムへの移行を検討したい。その際、事前にチェックすることはせず、会員権限で何でも掲載して可。但し、その後管理者権限で削除することもある。
- (2) 大阪フォーラム後の総会で、会員専用サイトの利用方法についてとインターネットを利用した会報の配布についてのレクチャーを中村編集委員が行う。その後、正式に会員専用サイトをオープンする。
- (3) 編集委員(12名)  
佐竹正実 一色真司 原省司 江口勝善 車育子 矢吹正徳 種田祝次 宮崎雅子  
岸裕司 宮崎稔 斉藤正一 中村智成

## 4 事務連絡

### これからの会報の発行について

これからの会報の発行は、事務局会議の決定を受け、上記のようになりました。これによって、これまで会費の大半を占めていた郵送費が大幅に軽減になり、支部や地域ごとの研修会・勉強会にある程度の補助金を回すことが可能になりました。計画のあるところは、事務局までご一報ください。

### 会員継続の意思確認と会費の納入について

会員継続の意思確認と会費の納入について、毎年4月に行うことになりました。期日までのご連絡をよろしくお願いいたします。

### 会員名簿の掲載について

ホームページの会員専用サイトから、会員名簿を常時見ることができます。会員以外には、見ることはできません。修正がある方は、事務局で適宜受け付けておりますのでご一報ください。

## 5 会員の活動から

千葉県支部結成の研修会記録      新潟県「阿久津会員」の活動      津久見市「諫山会員」の活動  
経済同友会教育委員会「石川史郎会員」の紹介記事      新潟県「和泉会員」の活動  
~~~~~  
随時、ホームページ上に資料として掲載していきます。

## 6 その他

2004年度のフォーラム開催の立候補を受け付けます。また、「2005年度以降なら」という地域でも構いません。「今は、まだあまり推進されていないが・・・」という地域でも結構です。フォーラムを機会に、融合の推進が図られたという地域もごさいます。どうぞ、奮ってご応募ください。

おまけ(編集後記のようなもの)

事務局会議を行う岸さんと車さんが働く(株)パンゲアは、東京ドーム球場のある後樂園遊園地の近くです。この後樂園は、この春に地下1,700mまで掘り進み出水した温泉を売り物にする「らく～あ」をオープンしました。

そこで、6月20日(金)夜に開いた事務局会議後、泊まり組?は「らく～あ」に繰り出しました。「お風呂には1週間くらいいらなくても平気です!」と、のたまっていたこの日のメインゲストの大阪から飛行機でやってきた油谷副会長でしよう、会長夫婦でしよう、岸さんと車さんでしよう、常田さんでしよう、そして富士宮市から新幹線でやってきた「アレ姫」こと城佐知子さんと、私。残念無念の帰宅組みは、佐竹さんでしよう、みさちゃんこと小山みささん、江口さん、一色さん、初参加の武笠和夫さん。

さて温泉は、少ししょっぱくて薄い茶色で気持ちいい! 「うん、これで泊まれて5,000円以内で収まるんだからビジネスホテルよりも安いやすいね!」と、みんな笑顔で納得(^)v こんな楽しい事務局会議、みなさんも参加しませんか? お土産は地元の「アレ」がいいなと(^;;;;;; (斉藤)